

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↘ 224	272	百日咳	↗ 1	0
RSウイルス感染症	↗ 3	2	ヘルパンギーナ	↗ 47	33
咽頭結膜熱	↗ 23	15	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 1	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 125	98	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	→ 673	673	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 16	18
水痘	↗ 60	57	細菌性髄膜炎	↗ 1	0
手足口病	↗ 117	101	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑(りんご病)	↘ 2	3	マイコプラズマ肺炎	↘ 0	1
突発性発しん	↗ 48	46	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↗ 11	7

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- インフルエンザ
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎：山鹿、菊池、有明、宇城
 手足口病：八代、水俣、宇城
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：菊池

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所	45	2	4	38	167	21	32	1	19		6	1		15	1				11
山鹿保健所	27			1	25	5			2				*	*					
菊池保健所	68		7	31	111	4	6		6	1	17								
阿蘇保健所	6				4								*	*					
御船保健所	7				14		1						*	*					
八代保健所	9		2	7	49	1	18		4		1								
水俣保健所	3		5	2	8		33	1	1				*	*					
人吉保健所	12	1		7	42	6	1						*	*					
有明保健所	19		2	6	92	11	1		9		5								
宇城保健所	20		1	22	99	4	20		1		6		*	*					
天草保健所	8		2	11	62	8	5		6		12			1					
計	224	3	23	125	673	60	117	2	48	1	47	1	0	16	1	0	0	0	11

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	224	1	3	4	13	8	15	14	13	10	13	13	57	13	9	10	12	8	4	4	
小児科定点年齢	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	3	1	1		1																
咽頭結膜熱	23		5	10	3	2	2	1													
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	125			5	4	15	22	19	14	12	9	7	12	1	5						
感染性胃腸炎	673	7	52	97	71	70	63	66	46	40	26	25	61	7	42						
水痘	60		6	11	17	9	6	7	2				1								
手足口病	117	1	9	40	37	12	11	4		3											
伝染性紅斑	2		1	1																	
突発性発しん	48	1	28	18				1													
百日咳	1												1								
ヘルパンギーナ	47		4	21	7	8	6		1												
流行性耳下腺炎	1								1												
眼科定点年齢区分	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	16													2	5	1	2	2	3	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	1																1				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	11	3	6	2																	

八代、水俣、宇城は引き続き手足口病が警報レベルです

手足口病は、八代、水俣、宇城地域が先週に引き続き警報レベルです。特に、水俣地域では、2週連続で1.5倍以上に増加しています。その他の地域では、また報告は少ないですが、手足口病は夏場に流行する感染症なので、これから注意が必要な感染症です。特に、保育所等の集団生活の場では、しっかり感染予防対策をとりましょう。

手足口病とは

潜伏期間：3～5日
 特徴：発熱、手のひら、足の裏、おしり、口の中の粘膜の発疹。38度台の熱が1～3日あります。発疹は水疱性の発疹(一見水疱瘡に似ている)で、周りが赤くなり、痛みを伴います。2～3日でかさぶたになり1週間程で消えます。1～5歳までが多く、成人でも感染します。4歳までの乳幼児が80～90%を占めるウイルス性発疹症です。

手足口病の感染経路

- 飛まつ感染：咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染します。
- 経口・接触感染：水疱のなかみや便に排泄されたウイルスが口や眼などの粘膜に入って感染します。

手足口病の予防策

- ・手洗いは流水とせっけんて十分にしましょう。
- ・タオルの共用はしないようにしましょう。
- ・排泄物(便など)は適切に処理をしましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課

